

## デザインとアートの街六本木、東京ミッドタウンのデザインイベント 「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2013」

日本のデザインの今を知る多彩なイベントが東京ミッドタウンで開催  
約 143 万人を超える来街者がデザインに触れたエキサイティングな 18 日間が好評のうちに閉幕

東京ミッドタウン(事業者代表 三井不動産株式会社)は、2013年10月18日(金)から11月4日(月・振休)まで、デザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2013」(東京ミッドタウン デザインタッチ 2013)を開催いたしました。今年で7回目を迎える2013年は、「デザインを、探しに行こう。」をテーマに、東京ミッドタウンのガーデン、ショップ、デザイン施設など街全体を舞台に、誰もが日常に潜む様々なデザインを探して、触れて、楽しめる、多彩なコンテンツを東京ミッドタウンの全域で実施しました。期間中は今まで最高となる約 143 万人の来街者が訪れ、盛況の中で幕を閉じました。



▲「ミッドパーク・ダンジョン」の様子



▲「グッドデザインエキシビション 2013」(G展)の様子

つねに進化を続ける、六本木・赤坂エリア。「六本木ヒルズ」の森美術館に続き、「国立新美術館」、東京ミッドタウンに移転した「サントリー美術館」オープンにより、六本木に「アート・トライアングル」が出現。「夜の街六本木」から、「デザインとアートの街」として注目が高まっています。世界に通用するクリエイティブな都市「六本木の新たな価値」の創造に向けて、東京ミッドタウンは開業以来「デザインとアート」へ取り組み、子どもから大人まで、多くの方にデザインを身近に感じていただける多彩なイベントとして、「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」を毎年開催しています。まさに東京ミッドタウンを代表するイベントとして、成長し続けてまいりました。

### ◆日本のデザインの今を知る多彩なイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」

今年の「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2013」のメインコンテンツは、広大な芝生広場を舞台に若手建築家・藤村 龍至氏が手がける仮想都市「ミッドパーク・ダンジョン」が登場。建築家ならではの創造性やデザイン性に富んだパークアトラクションは、「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」のマスターコンセプトである『デザインを五感で楽しむ』を体現し、見て・触れて・楽しむ参加型のデザインイベントとして大好評でした。その他にも、デザインの今を知るクリエイターたちによる様々なイベントを開催。また、21\_21 DESIGN SIGHTでの「日本のデザインミュージアム実現にむけて展」、および今年は「グッドデザインエキシビション 2013」(G展)も同時開催され、多くの方が時代をリードするデザインに触れ、その楽しさに魅了されました。

東京では10月下旬から11月初旬にかけて、「TOKYO DESIGNERS WEEK」や「IFFT/Interior Lifestyle Living」をはじめさまざまなデザイン・インテリアイベントが開催されました。今後も「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」はデザインの今を伝え、東京を代表するデザインのムーブメントを起こす発信地としてこれからも進化し、展開し続けてまいります。2014年の秋もどうぞご期待ください！

### <Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2013 主なコンテンツ>

- **芝生広場** : ミッドパーク・ダンジョン、ミッドパーク・ワークショップ
- **ミッドタウン・ガーデン** : ジャグダ カサマカワライナダ ストーン エキシビション、デシーカ カーニバル カフェ
- **館内各所** : デザインショップパーコレクション 2013、Tokyo Midtown Award 2013 受賞作品発表・展示、DESIGN TOUCH CONFERENCE、Salone in Roppongi、グッドデザインエキシビション 2013(G展)
- **キャンピー・スクエア** : マツダ 魂動デザインフィロソフィー展示 ほか

## ミッドパーク・ダンジョン 期間:10月18日(金)~11月4日(月・振休)

都会のまん中、緑豊かな芝生広場を舞台に、大空の下に出現する冒険心をかきたてる仮想都市「ミッドパーク・ダンジョン」。

若手建築家 藤村 龍至氏の制作で、東京ミッドタウンの開発に親和性があるNY・マンハッタンの都市イメージを再現しました。特徴的な都市計画「マンハッタン・グリッド」をモチーフとし、木材で構成された格子状の仮想都市空間に、4つのスクエアと、ダンジョンの奥にそびえ立つシンボル、“ミッドパーク摩天楼”で構成。建築家ならではの創造性やデザイン性に富み、子どもから大人まで楽しめる今までにないパークアトラクションとなりました。

日中は緑に囲まれた秋空の下、家族連れやカップルなど多くの方が集い、都会のまん中に出現した仮想都市を思う存分楽しみ、賑わいをみせました。夜には、ライトアップに照らされて日中とは異なる幻想的な造形美に、訪れる人も足を止めて酔いしれる様子が見られました。

イベント終了後は、使用した木材を「ふんばろう東日本支援プロジェクト」にて、台風によって被害を受けた伊豆大島の支援物資の保管や資材管理などのスペースを土砂から守るためのパレットとして寄付をいたしました。



▲NY マンハッタン



▲「ミッドパーク・ダンジョン」俯瞰



▲賑わう日中の様子



▲ライトアップされた夜の様子

### 【藤村氏コメント】

#### ◆「ミッドパーク・ダンジョン」とは

「ミッドタウン」は東京の中心の街を意味すると同時に、アメリカ・ニューヨークのマンハッタンにある世界で最も高密度で都市性の高い中心エリアを意味します。

マンハッタンを覆う独特の街路パターンである「マンハッタン・グリッド」は、アーバンデザイナーの誰もが認める20世紀の都市デザインの最高傑作であり、公園、街路、広場、摩天楼がセットになった都市装置による豊かな都市空間は、東京ミッドタウンのルーツとなる都市イメージでもあります。

本プロジェクトでは、「都市空間」をテーマにマンハッタン・グリッドを立ち上げたような仮想の都市「ミッドパーク・ダンジョン」を計画。中央の広場(セントラルパーク)を中心に配置された4つの公園では、都市の中で愉しめるコンテンツを用意することで、豊かな都市の舞台装置を再現しました。結果的にはそれぞれで個性的な面白いものになったと思います。

#### ◆イベントを終えて

会期中は多くの方、特に子どもたちに楽しんで頂きました。

ハートのオブジェやタワーの足下でカップルやグループが記念撮影して下さり、観光地っぽい感じにもなっていて、本当に仮想都市のようでした。実際にダンジョンを体験している人たちの笑顔が嬉しかったです。

「デザインタッチ」のイベントを通じて、デザインを身近に感じていただく様子を見ると、デザインの持つパワーを改めて感じました。

### 藤村 龍至 / 建築家

東洋大学建築学科専任講師 / 藤村龍至建築設計事務所代表

1976年東京生まれ。2008年東京工業大学大学院博士課程単位取得退学。

2005年より藤村龍至建築設計事務所主宰。2010年より東洋大学専任講師。

主な建築作品に「BUILDING K」(2008)「家の家」(2012)。主な編著書に

『アーキテクト 2.0』(2011)『コミュニケーションのアーキテクチャを設計する』(2012)。

主なキュレーションに「超群島 -ライト・オブ・サイレンス」(青森県立美術館、2012)。



## Tokyo Midtown Award 2013 受賞作品発表・展示

期間:10月18日(金)~11月4日(月・振休)

東京ミッドタウンの取り組み、「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し世界に発信し続ける街”を目指す一環として、今年で6回目となる「Tokyo Midtown Award」を開催しました。次世代を担うアーティスト・デザイナーとの出会いと応援を目指し、アートコンペ、デザインコンペの2部門を設け、幅広く参加作品を募集。若い才能を応援する登竜門となるアワードを目指し、両コンペとも39歳以下を応募要件として設定しています。

結果、今回は、総計1,626件のご応募をいただきました(アートコンペ293件/デザインコンペ1,333件)。アーティスト、キュレーター、デザイナーなど第一線で活躍する審査員を迎え、厳正なる審査のもと14点の受賞作品を決定し、<アートコンペ>ではギリシア神話のトロイアの神官ラオコーンをモニュメントにした彫刻作品『単眼的風景:Gruppo del Laocoonte』(たんがんできふうけい:ぐるっぽ での らおこんで)、<デザインコンペ>では1年365日のちょうど「まん中の日」である7月2日を「お祝いの日」にデザインした『MID DAY』(みっど でい)がグランプリに選出され、10月18日(金)に授賞式が行われました。

受賞作品14点は、10月18日(金)から11月10日(日)までの約1ヶ月、東京ミッドタウンのプラザB1F オープンスペースにて展示され、館内を歩き交う人々からも多くの注目を集めました。

### <Tokyo Midtown Award 2013 グランプリ受賞作品>

<アートコンペ>テーマ:都市

作品名:『単眼的風景:Gruppo del Laocoonte』  
(たんがんできふうけい:ぐるっぽ での らおこんで)  
受賞者:鈴木 一太郎(すずき いちたろう)



<デザインコンペ>テーマ:まん中

作品名:『MID DAY』(みっど でい)  
受賞者:bivouac(びばーく)



### <東京ミッドタウン・オーディエンス賞決定!>

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2013」期間中の10月18日(金)~11月4日(月・振休)まで、同会場で一般の方による人気投票を実施。多数の応募により、アートコンペ、デザインコンペから下記作品が「東京ミッドタウン・オーディエンス賞」に輝きました。

【アートコンペ】「Tokyo Atlas」(とうきょう あとらす)

受賞者:山上 渡(やまかみ わたる)



都市を俯瞰し、<道>という存在に焦点をあてることで、東京という巨大な生命体をあぶり出そうと考えた作品。

【デザインコンペ】『梅消し』(うめけし)

受賞者:元谷 文則(もとだに ふみのり)



梅干しでご飯が進むように、梅消しで筆が進むことを願う、ちよっぴりしょっぱいユーモアが込められた、まるで梅干しのような消しゴム作品。

## その他のイベント概要・実施の様子

### ミッドパーク・ワークショップ

場所：ミッドタウン・ガーデン 芝生広場  
週末の芝生広場に、クリエイターを講師に迎えた多彩なワークショップが並びました。子どもから大人まで参加し楽しめるイベントとして、200人以上の列ができるものもあり盛況となりました。



会場の様子

### デザインショッパーコレクション 2013

インテリア・デザイン店舗 18 店と、日本を代表するデザイナー 18 人がコラボした店舗オリジナルの限定ショッピングバッグ。昨年に続き、一部店舗では早々になくなるなど今年も大好評でした。



会場の様子

### デザインタッチ・カンファレンス

場所：東京ミッドタウン・カンファレンス  
講師：大宮エリー、勝井三雄、西沢立樹、柴田文江、深沢直人、藤村龍至、Klein Dytham architecture、トラフ建築設計事務所 ほか※敬称省略 順不同  
第一線で活躍するクリエイターが集結する、1 日限りの夢のデザインスクールが開講。  
熱心に講義を聴く人で会場はいっぱいとなりました。



会場の様子

### Salone in Roppongi(サローネ イン ロッポンギ)

場所：アトリウム  
年に一度開催される、世界最大の家具見本市「ミラノサローネ」。  
“世界に羽ばたく日本のデザイン”をコンセプトに、今年ミラノで最も話題となったデザインオフィス「nendo」のインスタレーションとともに作品を展示し、作品の素晴らしさに注目が集まりました。



会場の様子

### ジャグダカサマカワライナダストーン エキシビション

場所 ミッドタウン・ガーデン  
日本の伝統工芸と日本を代表するクリエイターによる、人気のコラボレーション企画。せせらぎが心地いい遊歩道をステージに、触れたり、乗ったり、覗いたり。意外なデザインと出会える、石と焼き物のユニークな作品展となりました。



会場の様子

#### 【Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2013 担当者コメント】

街のコンセプトの一つでもある「デザイン&アート」という特徴を具現化したイベントとして、今年で 7 回目を迎え、多くの方に身近なものを通して「デザイン」に触れ、楽しんでいただくことができたと思います。今年は「Salone in Roppongi(サローネ イン ロッポンギ)」や、DE CICA Carnival café(デシーカ カーニバル カフェ)などの新しいコンテンツに加え、期間後半には「グッドデザインエキシビション 2013」(G 展)が東京ミッドタウンで開催となり、前半と後半で違ったコンテンツを開催。何度も楽しんでいただける内容となりました。これからも、六本木エリアのデザイン発信の基軸となるよう、ますますイベントを進化させていきます。

## 同時開催イベント

### 1. 「日本のデザインミュージアム実現にむけて展」

期間： 2013年10月25日(金)～2014年2月9日(日)

場所： 21\_21 DESIGN SIGHT

主催： 21\_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人三宅一生デザイン文化財団



会場写真(Photo: Masaya Yoshimura)

### 2. 「グッドデザインエキシビション 2013」(G展)

暮らしに身近な「グッドデザイン賞」。最新の全受賞作1,212点を紹介する「グッドデザインエキシビション」(G展)が、今年初めて東京ミッドタウンで行われました。国内各地をはじめアジアからの来場者も多い中、熱気あふれる会場では、キラリと光るデザインが集いました。

期間： 2013年10月30日(水)～11月4日(月・振休)

場所： 東京ミッドタウン内各所

主催： 公益財団法人日本デザイン振興会



会場の様子

### 3. 「Drinking Glass—酒器のある情景」展

期間： 9月11日(水)～11月10日(日) 火曜日休館

場所： サントリー美術館

